

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 12日

北九州市長 殿

提出者

住 所 福岡県北九州市若松区柳崎町1番

氏 名 (株)J-POWERハイテック若松事業所

所 長 卯 田 淳

電話番号 093-741-0966

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株)J-POWERハイテック 若松事業所
事業場の所在地	北九州市若松区柳崎町1番
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業・総合工事業
②事業の規模	前年度の完成工事高 5億8千万円
③従業員数	7人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

所長
(統括責任者)

業務推進役
(環境管理者)

建築工事担当
土木工事担当
(廃棄物担当者)

・処理計画の作成 ・監督官庁への各種報告
・社員、関連会社に対する教育、啓発 等

建築工事担当
土木工事担当
(廃棄物担当者)

・廃棄物の管理 ・運搬及び処理業者の選定
・委託契約の締結 ・管理票の交付及び管理
・その他関係する事項 等

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現 状	【前年度（4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラ	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	引火性廃油
	排 出 量	8.18	3.74	3.64	6.85	0.12	1,227.41	0.01
<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none">当事業は建設請負工事であり、抑制の手段は自社のみでは困難であるが、当社の受注体系の特異性（発注者とは親子の関係）で発注者との調整も可能なことから、発注者側に再利用可能なものは再利用提案を積極的に行うとともに進言している。								
② 計 画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃プラ	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	引火性廃油
	排 出 量	5.00	1.00	3.00	5.00	1.00	200.00	0.00
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none">当社の受注体系の特異性（発注者とは親子の関係）で発注者との調整も可能なことから、発注者側に再利用可能なものは再利用提案を積極的に行い排出量の抑制に努める。								

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現 状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none">当事業は建設請負工事であり廃棄物の種類は、がれき類を主として廃プラスチック、ガラスくず等である。これらの廃棄物は、再資源化を目的に種類及び工事毎に確実な分別を行い、再利用処理が簡素化になる形で排出している。
② 計 画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none">廃棄物の種類は、がれき類を主として廃プラスチック、ガラスくず等である。これらの廃棄物は、再資源化を目的に確実な分別を行い再利用処理が簡素化になる形で排出する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	【前年度（4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組) 特になし。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量					
	(今後実施する予定の取組) 特になし。					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	【前年度（4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量					
(これまでに実施した取組) 特になし。						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量					
(今後実施する予定の取組) 特になし。						

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
① 現状	【前年度（4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量							
	(これまでに実施した取組) 特になし。							
② 計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量							
	(今後実施する予定の取組) 特になし。							
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
① 現状	【前年度（4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラ	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	引火性廃油
	全処理委託量	8.48	3.74	3.64	6.85	0.12	1,227.41	0.01
	優良認定処理業者への処理委託量	2.98	0.00	0.06	1.01	0.12	0.00	0.01
	再生利用業者への処理委託量	8.48	3.74	3.64	6.85	0.12	1,227.41	0.01
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> 当社は、「排出事業者責任」を負っており、これを果たすためには信頼のおける業者（収集運搬、中間処理、最終処分）へ委託することが肝要である。 従って、委託業者と契約を交わす際には、当社所定の「委託業者チェックリスト兼報告書」に則り、許可証及びパンフレット確認は基より現地調査等を行い、委託する廃棄物に適合した信頼のおける処理業者を選定している。 								

② 計 画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃プラ	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	引火性廃油
	全処理委託量	5.00	1.00	3.00	5.00	1.00	400.00	0.00
	優良認定処理業者への 処理委託量	3.00	0.50	1.00	2.00	0.50	0.00	0.00
	再生利用業者への 処理委託量	5.00	1.00	3.00	5.00	1.00	450.00	0.00
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後とも委託業者と契約を交わす際には、信頼のおける業者選定的手段として当社所定の「委託業者チェックリスト兼報告書」に則り、許可証及びパンフレット確認は基より、現地調査及び協力業者等からの聞き取り調査等を行い、委託する廃棄物に適合した信頼のおける業者選定を行う。 								
※事務処理欄								

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。